



町長回誌

No.269

町長日誌の第 269 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

3月17日 (火曜日) PM2:00

先週の大雪も暖かさと共に随分と融けたように思いますが、オホーツク海は流氷で真っ白に閉ざされ、15日に籠入れが予定されていた毛ガニ漁も延期となりました。今日は「彼岸の入り」、20日が彼岸の中日で23日まで1週間続きます。これは日本独特の仏教行事で、お墓参りをしたりぼた餅をお供えしたりします。北海道では墓地が雪に埋まっていてお墓参りが出来ないところが多いのですが、農家は季節の変わり目というか、「そろそろ畑仕事が始まるなあ」と思います。また漁業者は毛ガニ・ニシンなどの「春漁がそろそろ始まるなあ」と思うのがこのお彼岸の頃ではないでしょうか。本日、午前中に議会の予算特別委員会で令和8年度予算案が承認され19日の本会議で可決決定される予定です。今年の予算では役場をはじめ各施設や公用車の燃料費は税金の廃止などによる値下げを見込んだ予算でしたが、アメリカとイスラエルがイランを攻撃したことから、日本に入る原油は早期解決が無ければ相当に値上がりすると思われます。当然、燃料にとどまらず生活全般に石油製品が浸透していますので、是非ともお彼岸を境にして中東に穏やかな春が来ることを願うばかりです。

2月21日 (土曜日)

オホーツク海の家明けを告げる、沙留漁業協同組合主催の「大漁祈願祭」に出席しました。流氷も沖に遠のき、明日からでも漁が出来そうな海です。3月9日にはホタテ漁が始まり15日にはカニ籠入れの予定で、組合長はじめ漁協役員の皆さんも安全操業と大漁を祈っていました。不漁が続くサケ・マスの回復とプランクトンが多く発生してホタテが大きく太ることを私も一緒に祈りました。その後、沙留万霊寺において「大漁満足と安全操業」を祈る「龍神講中」にも出席させていただきました。これは、曹洞宗の仏事で僧侶が太鼓を叩きながら経を唱える中、導師が分厚い経典で参詣者全員の両肩を叩きお祝いをするものです。龍神は海や水の神様として崇められているのですが、経典で肩を叩かれると何故か気持ち良くなるのは私だけでしょうか？ いずれにしても大漁と安全操業を願ってまいりました。

3月1日 (日曜日)

興部高校の卒業式に出席しました。道立高校は3月1日が卒業式と定められていることから平日、休日に関わらず式が行われます。今年の卒業生はわずか7名で興部中学出身がゼロの学年でした。ちょうど「町営の公営塾」を導入した年度でもあり、7名の生徒は未だ手探り状態であった「公営塾」の運営方法を切り開いてくれた生徒達でもあります。3年間一人も欠けることなく頑張ってくれたことが今年受験生40名へと繋がったのです。本当に感謝です。7名の卒業生は大学・専門学校・自衛隊員・就職とそれぞれが目指す道を歩みだします。心からのエールを送ります。

3月12日 (木曜日)

5日から始まった第一回定例議会は令和8年度の町の予算を決める議会です。5日に私や教育長が述べた一年間の方針を受け、今日は桑辺・大黒両議員から一般質問がありました。桑辺議員は最近大きな話題となっている「太陽光発電等再エネ施設設置に対する規制(ガイドライン)」、大黒議員からは「廃校の活用や旧病院・風車の取り壊し基金の創設」についてそれぞれ質問がありました。内容は、議会だよりに譲りますが、昨今自治体の財政が厳しいという話題が見受けられます。人件費や物価高騰のあおりを自治体も受けており、貯金にあたる基金を取り崩しながらの運営が続いています。これは今に始まったことではないのですが、この数年特に厳しさが増えています。これまで以上に知恵を出し合いながら近隣自治体との共同も検討するなど、身の丈に合ったまちづくりを今年も進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

卒業、退職、転勤の季節です。興部警察署は4月1日から紋別警察署興部庁舎となります。統合によりパトカーによる巡回が主になりますが、困ったことの相談や免許更新などはこれまで通りとのことですからご安心ください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

